

科目名 「 歯科診療補助論Ⅰ 」

|            |   |       |
|------------|---|-------|
| 学年         | 学期  | 科目責任者 |
| 1          | 前学期   | 中澤 広美 |
| 科目ナンバリング   | C - 10 - ⑦  |       |
| 単位数        | 2   |       |
| 学修目標 (GIO) | 歯科衛生士が行う歯科診療補助について理解し実践するために、必要な基本概念・医療人としての心構えを知り、実習を通じて実践のための技能・態度を修得する。  |       |
| 担当教員       | 専任教員：*中澤 広美 *門脇 明美 *岡元 明菜 *石橋 肇<br>学事委員：*齋藤 真規  |       |
| 教科書        | 最新歯科衛生士教本 『歯科診療補助論 第2版』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 (株)<br>最新歯科衛生士教本 『歯科機器』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 (株)   |       |
| 参考図書       | 新歯科衛生士教本 『歯科診療補助 受付対応・事務』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 (株)<br>新歯科衛生士教本 『歯科診療補助』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版 (株)<br>最新歯科衛生士教本 『歯科診療補助論』   |       |
| 評価方法 (E V) | 最終評価は平常試験 (80%) , 実習課題・レポート (10%) , 履修態度 (10%) で総合的に判断す   |       |
| 学生へのメッセージ  | <p>歯科診療の補助は、歯科衛生士として診療に携わる以上必要不可欠です。使用器具・器材・薬剤・材料・診療の内容を正しく理解するだけでなく、患者への対応やコミュニケーションの取り方について理解することも大切です。専任教員が歯科衛生士としての実務経験を活かし、歯科診療の知識や患者への配慮について説明をし、患者にとって安心かつ安全な歯科医療が提供できるよう指導していきます。</p> <p>医療人を目指す学生としてふさわしい態度・身だしなみで臨みましょう。また患者の健康を支援する職業を目指す意識を持ち、自分自身の体調管理を心がけてください。原則として欠席した学生への補講は行いません。</p> |       |
| オフィスアワー    | 17:00~18:00 教員<br>室   |       |

| 日付                                    | 授業項目                 | 授業内容  | 担当教員 |
|---------------------------------------|----------------------|---|------|
| 第1回<br>4/7 (木)<br><br>第2回<br>4/14 (木) | 授業ガイダンス<br>歯科診療補助の概要 | <p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。</p> <p>【授業の一般目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間の授業計画及び進め方について理解する。</li> <li>・歯科医療現場における歯科診療補助ができるようになるための知識を修得する。</li> </ul> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歯科衛生士の役割、業務内容、法的責任を理解できる。</li> <li>・歯科診療補助の目的を理解できる。</li> <li>・歯科診療の補助と歯科診療の介助の違いを述べることができる。</li> <li>・歯科診療補助における歯科衛生士の役割を列挙できる。</li> <li>・チーム歯科医療の必要性を述べるができる。</li> </ul> <p>【準備学修項目・時間】</p> <p>最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 第2版』 I編1章を読んでおくこと。(60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無】</p> <p>有:グループワーク</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> | *中澤  |

|   |  |   |  |
|---|--|---|--|
| <p>第3回<br/>4/21 (木)</p> <p>第4回<br/>4/28 (木)</p> <p>第5回<br/>5/12 (木)</p> | <p>医療安全・感染予防</p>                               | <p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。<br/> <b>【授業の一般目標】</b><br/>         医療安全と感染予防について理解し、院内感染予防のために必要な手指消毒の知識・技能・態度を修得する。<br/> <b>【行動目標 (SB0s)】</b><br/>         ・感染リスクを説明できる。<br/>         ・医療安全の目標を述べるができる。<br/> <input type="checkbox"/>標準予防対策 (スタンダードプリコーション) を説明できる。<br/> <input type="checkbox"/>適切な手指消毒が実践できる。<br/>         ・正しいマスク・グローブ・ゴーグルの付け方・外し方を実践できる。<br/>         ・医療廃棄物の取り扱いを理解し、分別ができる。<br/> <b>【アクティブラーニングの有無】</b><br/>         有<br/> <b>【準備学修項目・時間】</b><br/>         最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 第2版』Ⅱ編1章3章を読んでおくこと。<br/>         実習時には講義内容を十分に復習して臨むこと。(60分)<br/> <b>【学修方略 (LS)】</b><br/>         講義, 手指消毒実習, 手の細菌摂取と観察実習, グループワーク</p> | <p>*中 澤<br/>*門 脇<br/>*岡 元<br/>*齋 橋<br/>藤</p> |
| <p>第6回<br/>5/19 (木)</p> <p>第7回<br/>5/26 (木)</p>                         | <p>診療室の整備・管理・診療用器材の取り扱い</p> <p>医薬品・歯科材料の管理</p> | <p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。<br/> <b>【授業の一般目標】</b><br/>         歯科診療室における共同動作を行うのに必要な診療室の環境, 歯科用ユニット等の設備, 薬品について理解し, 管理方法を知る。<br/> <b>【行動目標 (SB0s)】</b><br/>         ・診療室の環境と設備を整えられる。<br/>         ・歯科用ユニットの各部名称を述べるができる。<br/>         ・歯科用ユニットの取り扱い・管理ができる。<br/>         ・各種滅菌方法を述べるができる。<br/>         ・消毒薬の管理について説明できる。<br/> <b>【アクティブラーニングの有無】</b><br/>         有<br/> <b>【準備学修項目・時間】</b><br/>         最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 第2版』Ⅱ編第3章, 『歯科機器』1章2章を読んでおくこと。<br/>         実習時には講義内容を十分に復習して臨むこと。(60分)<br/> <b>【学修方略 (LS)】</b><br/>         講義・実習・グループワーク</p>   | <p>*中 澤<br/>*門 脇<br/>*岡 元</p>                |
| <p>第8回<br/>6/2 (木)</p>  | <p>衛生材料<br/>歯科診療時の診療補助～保存治療～</p>               | <p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。<br/> <b>【授業の一般目標】</b><br/>         ・歯科診療に使用する衛生材料作製のための技能を修得する。<br/>         ・保存治療時の診療補助ができるようになるための知識・技能を修得する。<br/> <b>【行動目標 (SB0s)】</b><br/> <input type="checkbox"/>衛生材料の使用目的, 種類, 作製方法を述べることができる。<br/> <input type="checkbox"/>根管処置の概要, ブローチ綿栓の目的, 取扱いを説明できる。<br/>         ・衛生材料 (綿板, ロールワッテ, 綿球), ブローチ綿栓の作製ができる。<br/> <b>【アクティブラーニングの有無】</b><br/>         有<br/> <b>【準備学修項目・時間】</b><br/>         新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 第2版』2編1章を読んでおくこと。(60分)<br/> <b>【学修方略 (LS)】</b><br/>         講義・実習・グループワーク</p>   | <p>*中 澤<br/>*門 脇<br/>*岡 元</p>                |

|  |                         |   |                               |
|--|-------------------------|---|-------------------------------|
| <p>第9回<br/>6/9 (木)</p>   | <p>滅菌・消毒と<br/>感染予防①</p> | <p>【授業の一般目標】<br/>歯科医療における感染症の概念を知り，生体での実習を行う上で必要な，感染予防対策や感染性医療廃棄物の取り扱いについて理解する。<br/>【行動目標 (SB0s)】<br/>・医療安全管理について再考し，場面に応じた対応を具体的に述べるができる。<br/>・各種滅菌器械の取り扱いを説明できる。<br/>・各種滅菌器，消毒薬の管理を説明できる。<br/>【アクティブラーニングの有無】<br/>無<br/>【準備学修項目・時間】<br/>最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 第2版』I編1章『歯科機器』1章2章を読んでおくこと。(60分)<br/>【学修方略 (LS)】<br/>講義</p>   | <p>*中 澤</p>                   |
| <p>第10回<br/>6/16 (木)</p>   | <p>滅菌・消毒と<br/>感染予防②</p> | <p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。<br/>【授業の一般目標】<br/>歯科医療における感染症の概念を知り，生体での実習を行う上で必要な，感染予防対策や感染性医療廃棄物の取り扱いについて理解する。<br/>【行動目標 (SB0s)】<br/>・医療安全管理について再考し，場面に応じた対応を具体的に述べるができる。<br/>・各種滅菌器械の取り扱いを説明できる。<br/>・各種滅菌器，消毒薬の管理を説明できる。<br/>【アクティブラーニングの有無】<br/>無<br/>【準備学修項目・時間】<br/>最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 第2版』I編1章『歯科機器』1章2章を読んでおくこと。(60分)<br/>【学修方略 (LS)】<br/>講義</p>   | <p>*中 澤</p>                   |
| <p>第11回<br/>6/23 (木)<br/><br/>第12回<br/>7/4 (月)<br/><br/>第13回<br/>7/7 (木)</p> | <p>共同動作 I</p>           | <p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。<br/>【授業の一般目標】<br/>歯科診療時の診療補助 (共同動作 I)ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。<br/>【行動目標 (SB0s)】<br/>・「共同動作」の意義・目的を述べるができる。<br/>・患者誘導ができる。<br/>・水平位が取れない患者への配慮ができる。<br/>・術者・補助者・患者のポジショニングを実践できる。<br/>・診療時の正しいライティングができる。<br/>・消毒・滅菌器具の管理ができる。<br/>・診療に応じた器具の受け渡しができる。<br/>【アクティブラーニングの有無】<br/>有<br/>【準備学修項目・時間】<br/>最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 2版』II編1章，『歯科機器』1・2を読んでおくこと。(60分)<br/>【学修方略 (LS)】<br/>講義・実習・手の細菌摂取と観察実習・グループワーク<br/><br/>※6月30日 (木) 早期臨床実習 II (歯科衛生士概論 I) のた振り替えあり。要注意。<br/>7月8日 (月) 1時間目2時間目は歯科診療補助論 I，<br/>7月11日 (月) 1時間目2時間目は保健指導論 I に振り替える。</p> | <p>*中 澤<br/>*門 脇<br/>*岡 元</p> |

|                          |                    |   |                               |
|--------------------------|--------------------|---|-------------------------------|
| <p>第14回<br/>7/14 (木)</p> | <p>共同動作Ⅱ<br/>①</p> | <p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。<br/> <b>【授業の一般目標】</b><br/>         歯科診療時の診療補助（共同動作Ⅱ）ができるようになるための知識を修得する。<br/> <b>【行動目標（SBOs）】</b><br/>         ・口腔内洗浄，バキュームテクニックの必要性を説明できる。<br/>         ・部位ごとのバキューム操作について説明ができる。<br/>         ・歯科診療におけるフォーハンドの手順を知ることができる。<br/> <b>【アクティブラーニングの有無】</b><br/>         有<br/> <b>【準備学修項目・時間】</b><br/>         最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 第2版』Ⅱ編1章を読んでおくこと。（60分）<br/> <b>【学修方略（LS）】</b><br/>         講義・実習・グループワーク</p>   | <p>*中 澤</p>                   |
| <p>第15回<br/>7/21 (木)</p> | <p>共同動作Ⅱ<br/>②</p> | <p>臨床経験に基づき以下の内容を説明する。<br/> <b>【授業の一般目標】</b><br/>         バキュームテクニックおよび器具の受け渡しを身につけるためにマネキン実習を通じて知識・技術・態度を修得する。<br/> <b>【行動目標（SBOs）】</b><br/>         ・バキューム禁忌部位が述べられる。<br/>         ・マネキンにて部位ごとのバキューム操作ができる。<br/>         ・マネキンにて器具の取り扱いおよび受け渡しが実施できる。<br/>         ・安全に配慮し実習に参加することができる。<br/> <b>【アクティブラーニングの有無】</b><br/>         有<br/> <b>【準備学修項目・時間】</b><br/>         最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論 第2版』Ⅱ編1章を読んでおくこと。（60分）<br/>         歯科診療補助論Ⅱ第1回目2回目3回目は共同動作の相互実習になるので，マネキン実習で基礎をしっかりと習得すること。<br/> <b>【学修方略（LS）】</b><br/>         講義・実習・グループワーク</p> | <p>*中 澤<br/>*門 脇<br/>*岡 元</p> |